



福岡市民病院

AST(Antimicrobial Stewardship Team)

みなさま、はじめまして。福岡市民病院薬剤部です。
当院は、第2種感染症指定医療機関、感染対策向上加算1算定施設であり、福岡市内最多の感染症病床を有する病院です。当薬剤部では、そのような状況を踏まえ、薬剤師1名をAST専従として配置しています。
今回は、そんな福岡市民病院ASTの活動を紹介いたします。

(1) 構成要員

当院ASTは感染症内科医師3名、看護師1名、臨床検査技師2名、薬剤師1名の計7名で構成されており、そのうち薬剤師1名がAST専従として業務にあたっています。



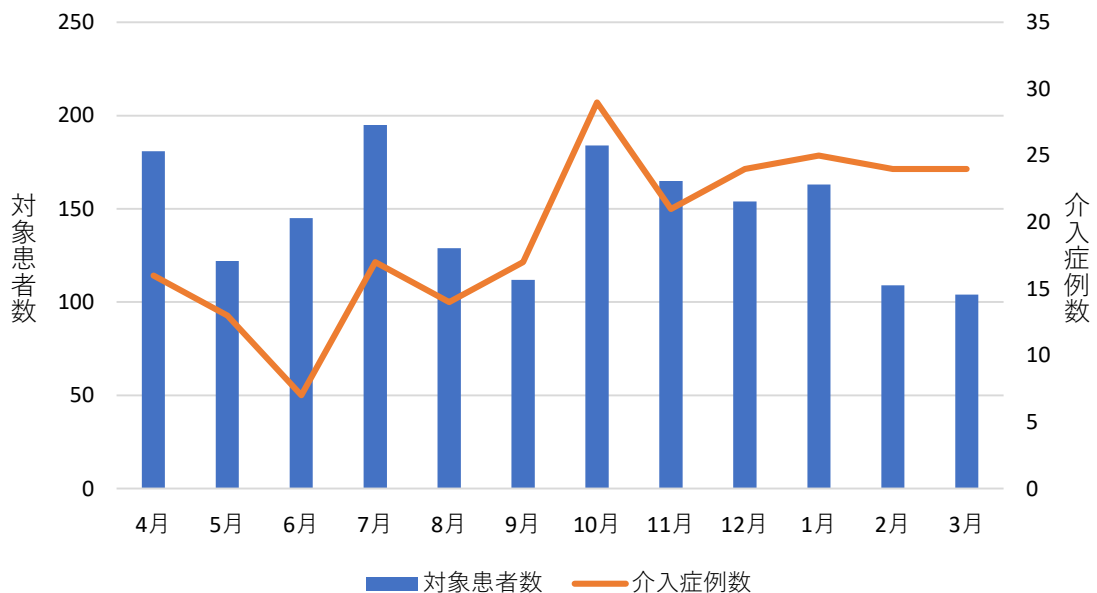
(2) 活動内容

当院ASTでは、Antimicrobial Stewardship Teamの名の通り、院内院外を問わず、抗菌薬の適正使用支援を行っています。抗菌薬使用についてのコンサルト、抗菌薬のTDMシミュレーション依頼など、院内のあらゆる感染症治療に関する相談に応じています。また、毎週1回、ASTラウンドを行い、院内の抗菌薬使用状況を確認し、必要に応じて主治医へフィードバックを行っています。加えて、当院と連携している他病院からの相談にもに応じています。

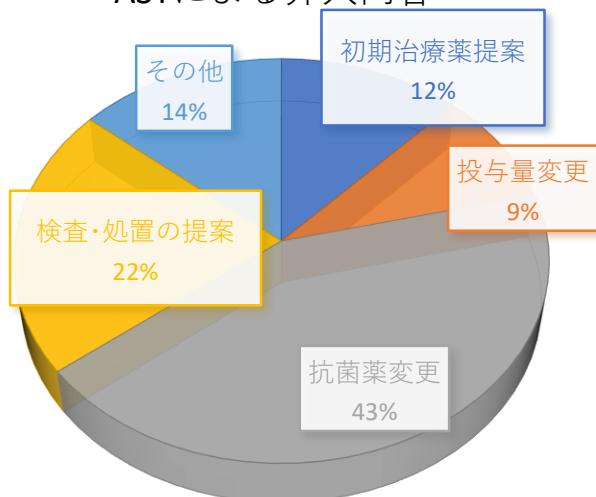
(3) 活動実績

当院ASTのラウンド実績を下図にお示ししています。ラウンド対象の患者数は令和3年度全体でのべ1763例であり、そのうち主治医へフィードバックをおこなった介入患者数は231例にのびりました。また、臨床面のみならず学術面においても、各学会学術集会での発表、論文発表など精力的に活動しています。

令和3年度ASTラウンド対象患者推移



ASTによる介入内容



近年の論文発表

倉田 賢生, 井上 昇, 近藤 聡子, 斧沢 京子, 谷 直樹, 南順也, 大石 涼, 長野 祐久, 荒木 弘, 桑野 博行, 福岡市民病院COVID-19ワクチンワーキンググループ: トジナメラン (コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン (SARS-CoV-2)) による副反応の経日的調査-副反応出現率に対する性別, 年齢および接種回数の影響-. 感染症学雑誌2022; 96: 65-73.

倉田 賢生, 堀内 寿志, 斧沢 京子: 中規模病院外来部門における抗菌薬適正使用支援による経口抗菌薬使用量および検出微生物の抗菌薬耐性率低減への効果-AMR対策アクションプランの成果指標の達成-. 日本環境感染学会誌2021; 36: 257-263.

今後も福岡市全体の感染症治療に貢献できるチームとなるよう、尽力していきます。

